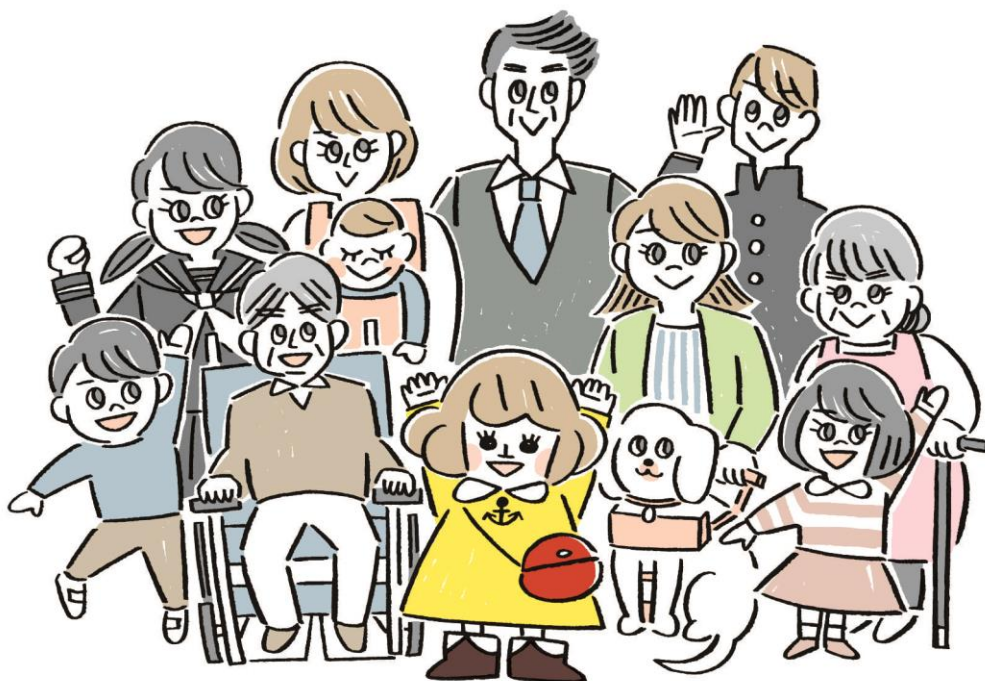


令和5年度 年末年始地域ささえ愛活動 助成希望団体募集



この助成は「歳末助け合い愛の持ち寄り運動」を財源としています。

交流事業や学習事業を通じた地域での集い場作り、見守り活動の実施や充実、地域での話し合いの場作りなど「地域でのつながりづくり」を進めていくきっかけとして、この助成をご活用下さい。

●募集期間 令和5年10月23日(月)～12月6日(水)●

1. 助成目的

『誰もが安心して年末年始が過ごせる地域づくり』『みんなで支えあうあったかい地域づくり』を目的とし、地域住民が主体となって行う地域福祉活動に対して、つながりづくりのきっかけとなるよう助成を行います。

2. 助成金額

30,000 円 (活動にかかる経費の 90%以内 ※100 円未満切捨)

3. 助成対象の団体

宝塚市内の自治会やコミュニティなど、5名以上で活動し、助成を希望する非営利団体（※）

※NPO、社会福祉法人等の法人が行う地域福祉活動について、本来事業（介護保険制度、障害者自立支援法等に関連する事業）へは助成できません。また、「歳末福祉施設・団体配分」との重複助成はできません。

4. 助成の手順

- ① 申込方法 下記の書類を、お近くの地区センターまたは宝塚ボランティアプラザ zukavo（旧・ボランティア活動センター）にご持参下さい。
なお、Eメール、郵送による応募は受付できません。

- 申込書
- 会則（※コミュニティ、自治会の場合は添付不要）
- 振込口座の通帳コピー

- ② 申込受付期間と助成決定、助成金の振込予定日、報告の期日

受付期間	助成決定日	振込予定日	報告
10/23～11/10 受付分	11/17	11/22	活動終了後速やかに 最終報告期日 3/15
11/11～12/6 受付分	12/8	12/14	

- ③ 助成の決定 文書で各団体に通知し、指定の口座に振込みます。

- ④ 報告の方法 活動終了後、速やかに下記の書類をお近くの地区センターまたは、宝塚ボランティアプラザ zukavo（旧・ボランティア活動センター）に提出して下さい。

- 報告書
- 活動時の写真2枚（※歳末募金チラシや活動事例紹介に使用させていただく場合があります。）
- 活動に伴う領収書のコピー
- 「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」の助成を受け、実施しているとPRしているチラシ、会報

5. 内容と助成額

	項目	内容	助成活動の 対象期間 ※2	1団体あたりの 助成額※3	助成 予定 数	助成額の 上限の 合計
①	交流活動 ※1	おおむね 20 人以上で 実施する地域交流活動		<u>30,000 円</u>		
②	学習活動	地域で行う福祉に関する 学習活動（「災害時の 見守り」「介護保険につ いて」「地域での子育て 支援」など）	11月1日 ～ 2月末日	活動にかかる 経費の 90%以内 ※100 円未満 切捨 ※4	170 団 体	5,100,000 円

留意点

※1 交流活動については、必ず、地域で支援や見守りが必要な方も実際に参加できるように企画してください。

※2 11月～2月に行われる活動であっても、年間を通じた恒例のグループ活動は助成の対象外となります。また、申込みは必ず事業実施前に行ってください。

※3 「活動者のみの費用」（活動に伴う打ち合わせ会・練習会、反省会などの飲食費、グループメンバーが講師になって行う場合の講師料・交通費などの人件費）、アルコール、タバコなどの嗜好品、商品券や図書カード、クオカード等の金券は助成対象外です。

※4 助成は総活動経費の 90%以内（※100 円未満切捨）を上限とします。

（返金の例）30,000 円の助成を受けたが、総活動経費が 30,500 円だった場合
 $30,500 \text{円} \times 0.9 = 27,450 \text{円} \rightarrow$ （100 円未満切捨） \rightarrow 助成額は 27,400 円
 $30,000 \text{円} - 27,400 \text{円} =$ 2,600 円の返金

6. PR のお願い

●助成を受ける活動に関しては、必ず「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」の助成を受けていることをチラシや会報、当日のあいさつ等で住民の方にお知らせください。

●宝塚市共同募金委員会では「みんなで集めてみんなで使う」を合言葉に募金活動を行っています。事業実施の際に募金箱やのぼりを設置できる団体、街頭募金に参加できる団体の方は、申込書にご記入下さい。

たくさんの地域福祉活動を応援するために、募金活動へのご協力と参加をお願いいたします。



7. お申し込み・お問い合わせ

お近くの地区センターまたは、宝塚ボランティアプラザ zukavo（旧・ボランティア活動センター）へお気軽にお問い合わせ下さい。

	地区センター	電話番号	住所
1 地区	おばやし地区センター	090-2640-3690	光明町 10-24
2 地区	逆瀬台地区センター	090-3262-0570	逆瀬台 6-1-2 (逆瀬台ティッシュセンター内)
3 地区	ごてんやま地区センター	080-8536-0681	御殿山 2-23-22
4 地区	安倉地区センター	0797-86-5003	安倉西 2-1-1 (総合福祉センター内)
5 地区	長尾地区センター	090-3055-2837	山本東 2-8-20 (WaiWai コミュニティあいわ内)
6 地区	中山台地区センター	090-5360-4894	中山桜台 5-15-2 (中山台コミュニティセンター内)
7 地区	西谷地区センター	090-1895-2702	大原野字炭屋 1-1 (西谷ふれあい夢プラザ内)
全市	宝塚ボランティアプラザ zukavo (旧・ボランティア活動センター)	0797-86-5001	売布東の町 12-8 (ぷらざこむ 1 内)
	共同募金委員会事務局 (宝塚市社会福祉協議会内)	0797-86-5000	安倉西 2-1-1 (総合福祉センター内)



兵庫県共同募金会マスコット
あかはねちゃん

令和5年度 年末年始地域ささえ愛活動助成申込書

団体名			
代表者名			
代表者住所・連絡先	〒 _____ ☎ _____		
この助成に関する 連絡先（代表者と異なる場合のみ記載）	(名前)	〒	(住所) (電話)

総活動経費(予定)	円	助成申し込み履歴	1. 初めて 2. 申込履歴有
助成希望額	円		

※ 助成額の上限は、30,000円かつ活動にかかる経費の90%以内（100円未満切捨）です。
活動にかかる経費の10%は、助成金以外の寄付金、会費など団体に確保してください。

<活動計画書>

活動の名称			
実施予定日			
目的			
内容			
参加予定者数	人（うち、支援が必要な方の参加予定 人）		
実施予定の事業によって今後地域で期待できること			
PR方法	※ 歳末募金の配分を受けて活動を実施する旨のPR方法・地域住民への呼びかけ方法を具体的に記入ください。		
募金協力（お願い）	1. 募金箱 個の設置 2. のぼり 枚の設置 3. 街頭募金への参加 4. 自治会などでの戸別募金 5. その他（ ）	(社協確認欄)	<input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()

★裏面もご記入下さい。

<活動予算書>

収入項目	金額（単位：円）	説明
歳末助成金		
合計		
支出項目	金額（単位：円）	説明
合計		

提出書類	<input type="checkbox"/> 申込書（本用紙） <input type="checkbox"/> 会則（コミュニティ、自治会の場合は不要） <input type="checkbox"/> 振込口座の通帳コピー（表紙及び1ページ目）
------	--

※個人情報の取り扱いについて、本事業以外の目的に使用することはありません。

★申込締め切り 第1次:11月10日(金)／第2次:12月6日(水)

記入見本

令和5年度 年末年始地域ささえ愛活動助成申込書

団体名	A B C 自治会		
代表者名	宝 すみれ		
代表者住所・連絡先	〒665-**** 宝塚市〇〇町**-* ** ☎0797-* **-* ** *		
この助成に関する 連絡先(代表者と異なる場合のみ記載)	(名前) 福祉 太郎	〒665-**** (住所) 宝塚市〇〇町+-++ (電話) 0797-xx-〇〇〇〇	

総活動経費(予定)	62,000円	助成申し込み履歴	1. 初めて
助成希望額	30,000円		2. 回目

※助成額の上限は、30,000円かつ活動にかかる経費の90%以内です。

活動にかかる経費の10%は、助成金以外の寄付金、会費など団体で確保してください。

<活動計画書>

活動の名称	ふれあい会食会		
実施予定日	令和〇年〇月〇日、令和△年△月△日		
目的	当自治会では高齢化が進み、ひとり暮らしや高齢者世帯も増えてきている。会食会をすることで普段家に居がちな方にも参加してもらい、地域での交流を深める。		
内容	お弁当とお菓子などを用意して、おしゃべりをしながら楽しい時間を過ごしていただく。なお、準備や配膳などは参加者にもできる範囲で手伝ってもらい、「お客様」にならないように気をつける。また、自治会役員や民生委員も一緒に会話の輪に入ることによって日頃の様子をお聞きする。 なお、会食会に参加できないひとり暮らしの方には後でお弁当を届けて安否確認とともに日頃のお困りごとなどをお聞きする。		
参加予定者数	60人(30名×2回)(うち、支援が必要な方の参加予定10人)		
実施予定の事業によって今後地域で期待できること	高齢者の方々のお話を聞くことで普段の生活の様子やお困りごとを把握することができるので、今後の福祉活動の参考にする。 今回このような取り組みは初めてなので、試行的に2回実施をした後、自治会で話し合い継続的な取り組みとして行っていきたい。		
PR方法	※ 歳末募金の配分を受けて活動を実施する旨のPR方法・地域住民への呼びかけ方法を具体的に記入ください。 チラシや自治会の回覧にてPRする。日頃から気になる人については民生委員や自治会役員から個別に声掛けもして参加を募る。		
募金協力(お願い)	1. 募金箱 1 個の設置 2. のぼり 1 枚の設置 3. 街頭募金への参加 4. 自治会などでの戸別募金 5. その他()	(社協確認欄)	<input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()

★裏面もご記入下さい。

<活動予算書>

収入項目	金額 (単位:円)	説明
歳末助成金	30,000	
参加費	18,000	300円×30名×2回
自治会より	14,000	
合計	62,000	
支出項目	金額 (単位:円)	説明
食材費	48,000	お弁当 @800円×30名×2回
〃	12,000	お茶菓子代
印刷費	2,000	案内チラシ、記録写真代
合計	62,000	

提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 申込書 (本用紙) <input type="checkbox"/> 会則 (コミュニティ、自治会の場合は不要) <input checked="" type="checkbox"/> 振込口座のコピー (表紙及び1ページ目)
------	---

※個人情報の取り扱いについて、本事業以外の目的に使用することはありません。

★申込締め切り 第1次:11月10日(金)／第2次:12月6日(水)

令和5年度 年末年始地域ささえ愛活動助成報告書

団体名	
代表者名	
代表者住所・連絡先	〒 ☎

総活動経費	円	助成額 (※返金がある場合は返金後の金額)	円
-------	---	--------------------------	---

※助成額の上限は、30,000円かつ活動にかかる経費の90%以内(※100円未満切捨)です。
活動にかかる経費の10%は、助成金以外の寄付金、会費など団体で確保してください。

＜活動報告書＞

活動の名称	
実施日	
参加人数	人 (うち、支援が必要な方の参加 人)
活動を通して感じたこと	
活動を通じて今後地域で行っていくこと	
募金寄付者へのありがとうメッセージ	
募金協力をしました	募金箱 個の設置・のぼり 枚の設置・街頭募金への参加 自治会などでの戸別募金・その他()

<活動決算書>

収入項目	金額 (単位: 円)	説明
歳末助成金 (助成決定時の金額)	①	
合計		
支出項目	金額 (単位: 円)	説明
合計	②	

(返金額 計算欄)

支出合計 (②)) 円	× 0.9 =	実際の支出に対して助成できる額 (上限3万円) (③) 00) 円
		※ ③は100円未満切り捨て
歳末助成金 (助成決定時) (①)) 円	— (③)) 円	= () 円
		返金額 ※ マイナスの場合は返金不要

提出書類	<input type="checkbox"/> 報告書 (本用紙) <input type="checkbox"/> 活動時の写真 (2枚程度) ※歳末募金募集チラシや次年度の活動紹介に使用する場合があります。 <input type="checkbox"/> 歳末助けあい愛の持ち寄り運動(歳末助け合い募金)の配分を受けていることをPRしたチラシ、会報 <input type="checkbox"/> 活動に伴う費用の領収書のコピー
------	---

※報告締切期限:活動終了後速やかに(最終報告期日:令和6年3月15日(金))

「地域のつながいづくり」応援します！

令和4年度 年末年始地域ささえ愛活動助成団体のご紹介

令和4年度に当助成を利用した団体は157団体でした。助成活動を通じて、活動の立ち上げにつながった他、様々な分野の団体や活動に活用いただいています。ここでは、昨年度助成金を活用された団体の中から活動事例をご紹介します。



もちつき大会「三世代交流と安否確認」 — 御所の前町自治会 —



子どもや親、高齢者もたくさん参加され、みんなで餅つきを楽しむことができました。デイサービスを利用中の方もきてくれて、楽しいひと時を一緒に過ごせました。また、つきたてのお餅を独居の高齢者に手渡ししながら、近況を伺うなど、これからの見守り・安否確認について考えることができました。これからも自治会行事を通じて、みんなが顔を合わせるきっかけをつくっていきます。

防災訓練「防災をみんなで考えよう」 — 紅葉ガ丘自治会 自主防災会 —

紅葉ガ丘は、地区の大部分が土砂災害警戒区域に入っており、住民の防災意識も高まりつつあります。今回は初の試みとして「市民トリアージ」の講習を受け、緊急時に住民ができることを「知っておく」大切さをみんなで共有できました。子どもたちは防災あそびを通じて学ぶきっかけになりました。いざという時に住民同士が支えあえる地域を目指して、これからも活動を続けていきます。



リース作りとレトロフェス「子どもも大人も楽しもう」 — バレエサークルシエレー —



クリスマスリース作りでは、本物の木のつるを使って製作し、参加した親子は和気あいあいと飾付を楽しみました。昭和レトロフェスでは缶ぼっくり作りやコマ回しなど、昔懐かしい遊びを子どもも親も楽しみました。どちらのイベントも、日常で経験できない、親子だけでは経験できない貴重な体験になりました。募金を活用させていただきありがとうございました！